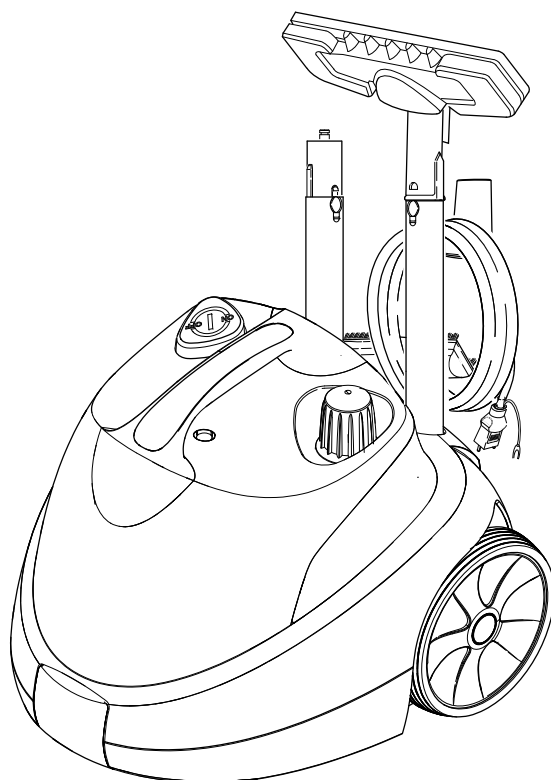


ケルヒャー家庭用スチームクリーナー
SC 1202
取扱説明書



※この商品は業務用ではありません。

※この商品は組み立てが必要です。

※作動テスト後出荷されているため、水分が多少残っている場合がありますが、製品の性能に問題はありません。

この度は、ケルヒャー商品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
ご使用の前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

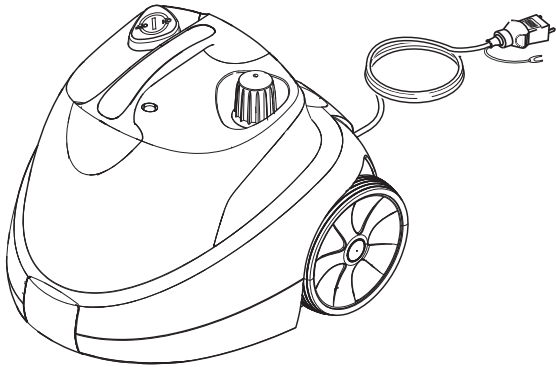
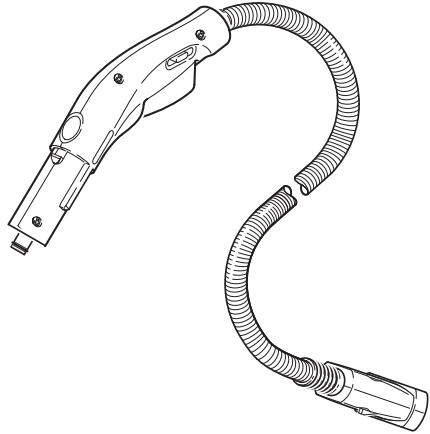
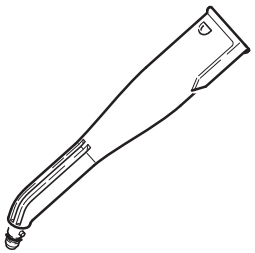
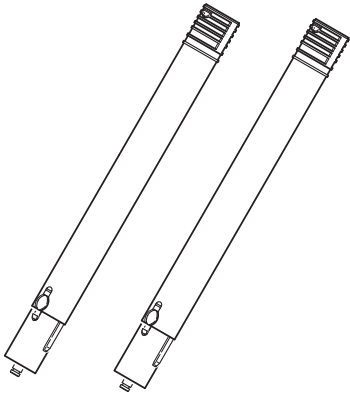
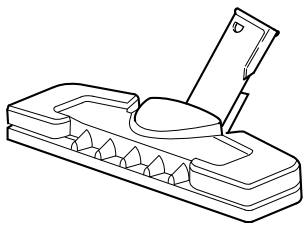
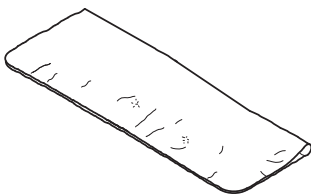
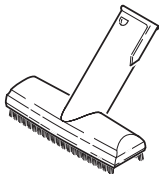
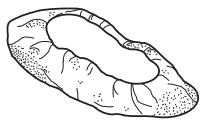
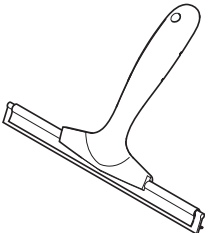
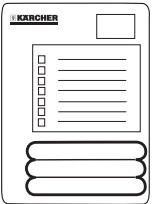
● もくじ

標準装備品	3
各部名称・機能	4～7
簡単マニュアル	8
1. 安全上の注意	9～14
2. 仕様	15
3. ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）について	16
4. 使用方法	17～24
1 ホース一体型ヘッドを取り付ける	17
2 給水する	18
3 電源を入れる	19
4 操作方法	20
5 アクセサリーの使用方法	20～21
＜アクセサリー用途＞	22～23
6 使用中にスチームが出にくくなった場合	24
5. 作業を中断、終了する場合	25～27
1 作業を中断する場合	25
2 作業を終了する場合	25～27
6. お手入れのしかた	28～30
1 本体のお手入れ	28
2 ボイラーのすすぎ（使用5回ごと）	28
3 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）の使用 （使用50回ごと）	29
4 安全バルブとOリング交換	29
5 アクセサリー接続口のOリングについて	30
6 定期点検について	30
7. 保管方法	31
8. 故障かな？と思ったら	32
9. オプション アクセサリー	33～34
10. アフターサービス・保証について	35
保証書	36～37

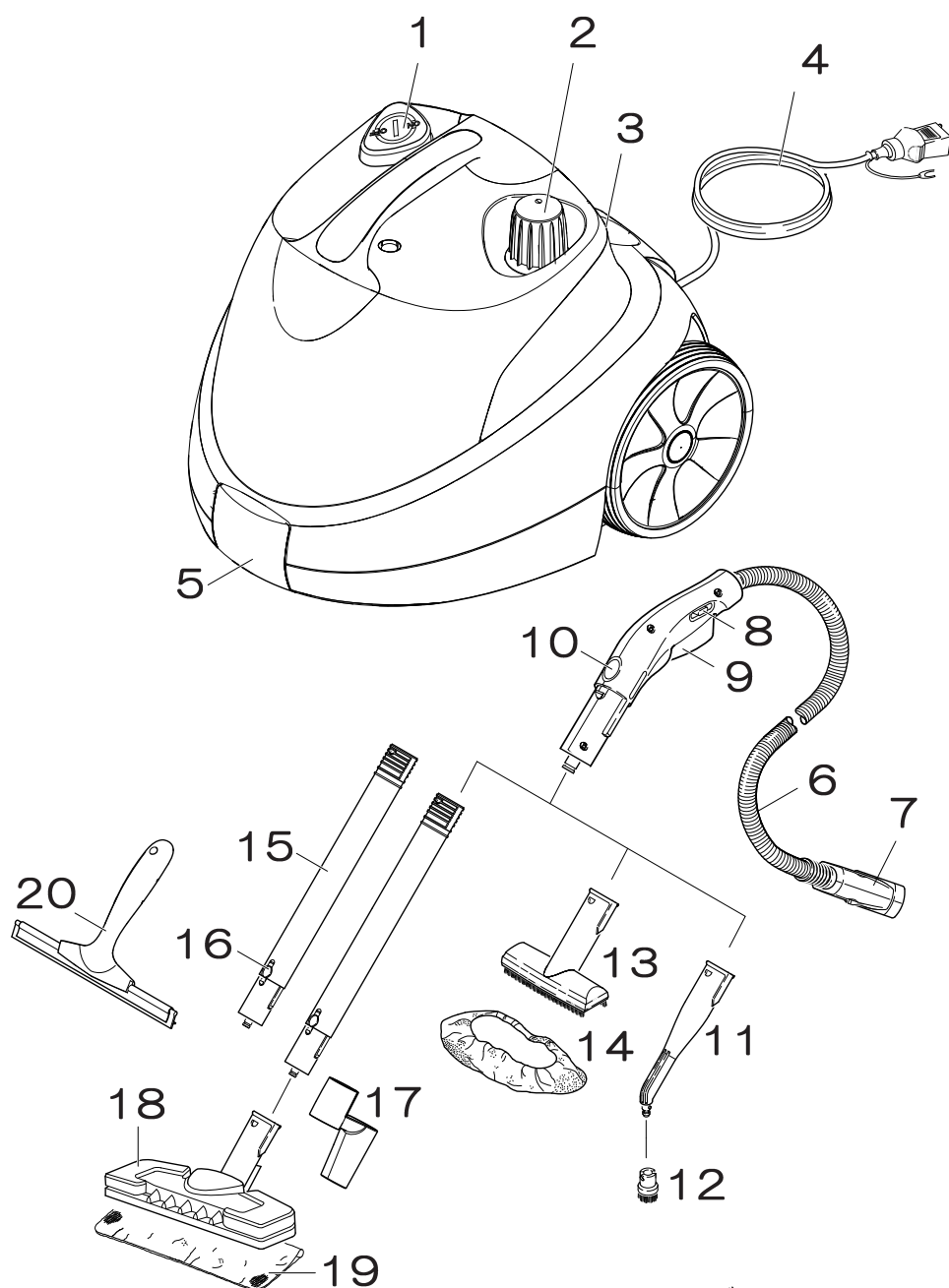
標準装備品

※本機をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。

※仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。

 本体 1 式		 ホース一体型ヘッド 1 式	
 ノズルヘッド 1 個	 ブラシ 1 個	 延長パイプ 2 本	
 フロアノズル 1 個	 クロス 1 個	 アクセサリフック 1 個	
 ハンドブラシ 1 個	 カバー 1 個	 窓用スクイジー 1 個	 RM511 3 本 ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤)

各部名称・機能



- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 電源スイッチ | 11. ノズルヘッド |
| 2. 安全バルブ | 12. ブラシ |
| 3. アクセサリーホルダー | 13. ハンドブラシ |
| 4. 電源プラグ | 14. カバー |
| 5. ホース接続口 | 15. 延長ノズル |
| 6. ホース一体型ヘッド | 16. ロックボタン |
| 7. 本体接続口 | 17. アクセサリーフック |
| 8. スチームレバーロック | 18. フロアノズル |
| 9. スチームレバー | 19. クロス |
| 10. アクセサリーロックボタン | 20. 窓用スクイジー |

本 体

ボイラー警告灯（赤）

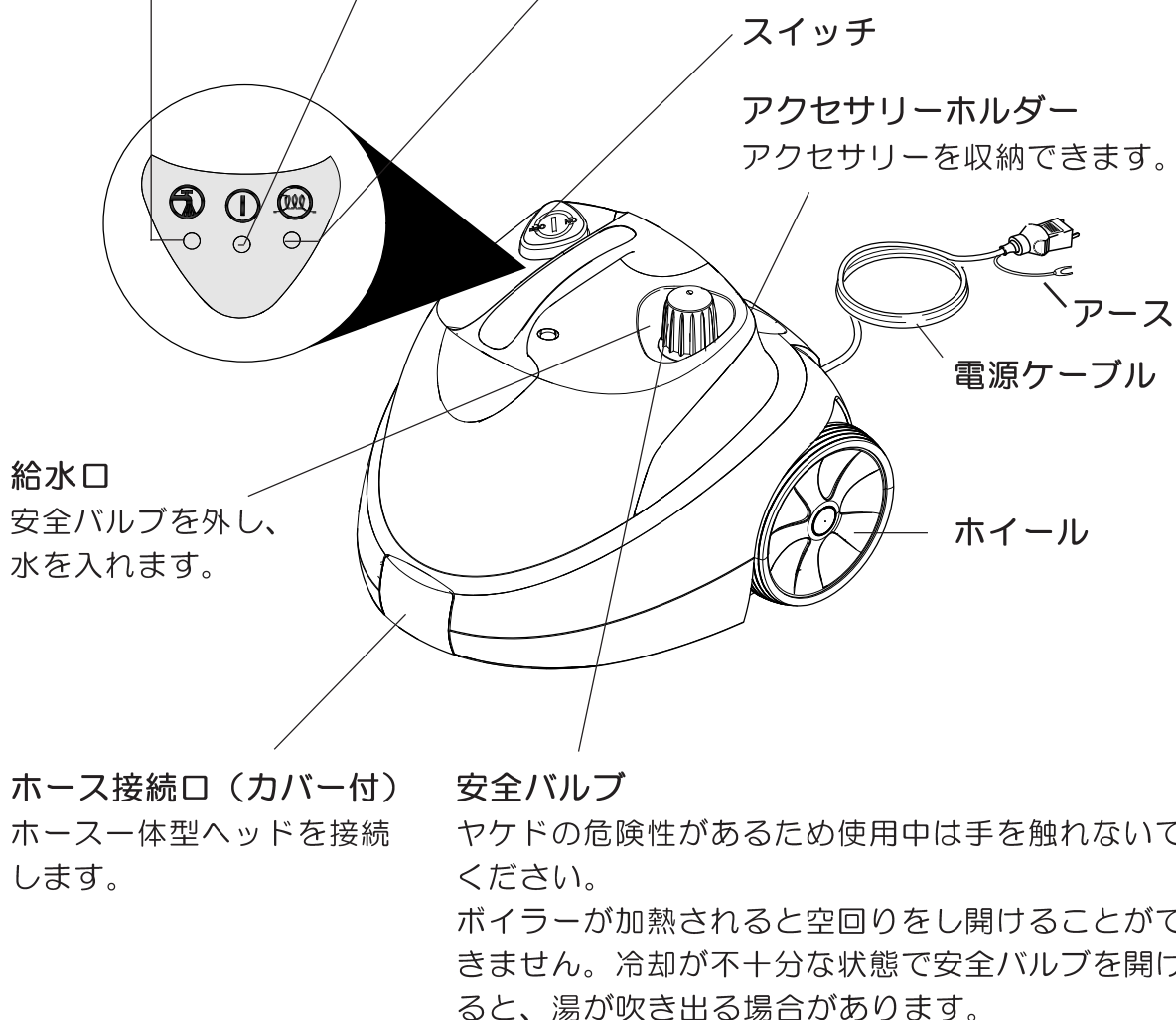
ボイラーの水が少なくなると点灯します。スチームが出なくなった場合は本体が人肌以下に冷めた後安全バルブを開け水の補給を行ってください。

電源ランプ（緑）

電源を入れている間点灯します。

ヒーターランプ（オレンジ）

スイッチを押すと点灯し、加熱が完了すると消灯します。スチーム吐出中はボイラー温度が下がり、自動的に加熱が始まりヒーターランプが点灯します。ボイラー圧力が規定値に達するとヒーターランプが消灯します。





注意

アクセサリ接続口のＯリングが装着されていない場合には使用しないこと。スチームがもれて、ヤケドの原因となります。

ホース一体型ヘッド

ヘッド先端にアクセサリを取り付けて使用します。

アクセサリを取り付けない状態でもご使用いただけます。

アクセサリロック

ボタン

ロックボタンを押すとアクセサリの着脱ができます。

Ｏリング

スチームレバー

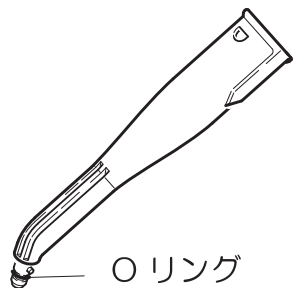
レバーを握るとスチームが吐出します。

スチームレバーロック

前方にスライドさせるとロックがかかり、レバーを握れない状態になります。後ろ側にスライドさせるとロックが解除されます。

スチームホース

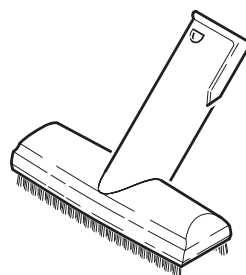
本体接続口



Ｏリング

ノズルヘッド

先端にブラシを取り付けることができます（ブラシを取り付けない状態でも使用できます）。



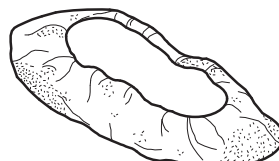
ハンドブラシ

カバーを付けて汚れを拭き取ります。カバーを取り付けない状態で、ブラシでこすることもできます。



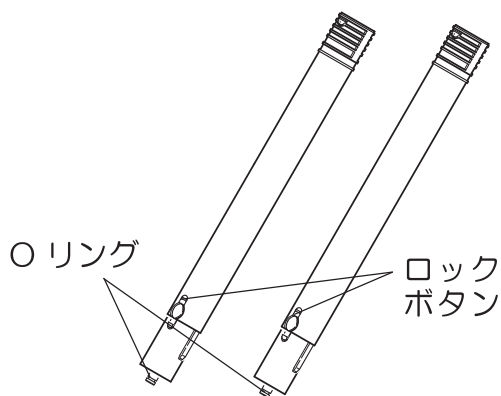
ブラシ

ノズルヘッドに取り付け、ブラシの毛が広がらない程度でのご使用ください。



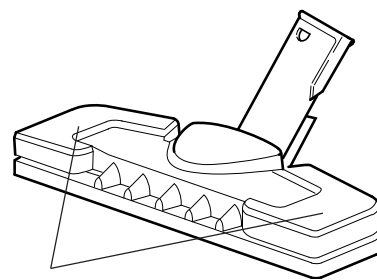
カバー

ハンドブラシに取り付けて使用します。



延長パイプ

フロアブラシを取り付けて床の掃除、あるいは手の届かない場所の掃除にご使用ください。



クロス
クリップ

フロアノズル

クロスを取り付け、汚れを拭い取ります。

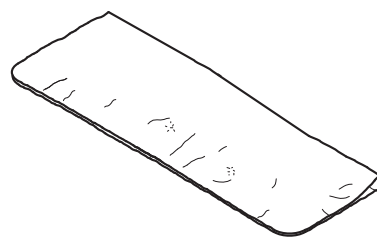
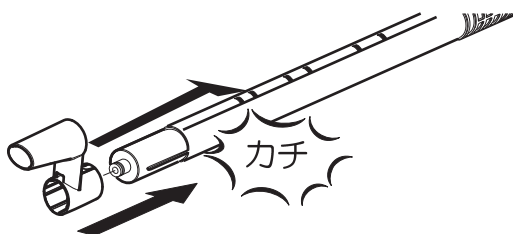


アクセサリフック

延長パイプに取り付けると、アクセサリホルダーに掛けることができます。

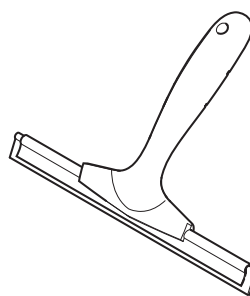
取り付け方法

アクセサリフックのロックボタンを押し、手前から2番目の溝に取り付けます。ロックボタンを離すと固定されます。



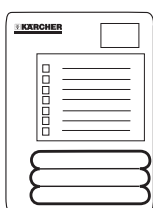
クロス

フロアノズルに取り付けてご使用ください。



窓用スクイジー

窓の水滴、汚れを拭い取ります。
※スチームを出すことはできません。
拭い取り専用です。



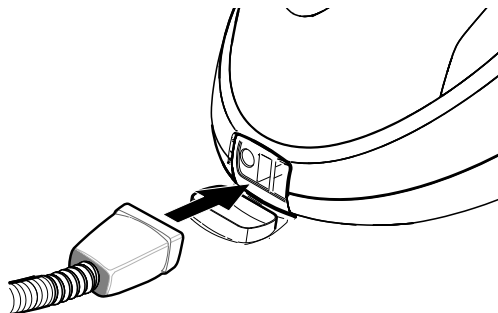
RM 511

ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）

ボイラーに付着したスケール（湯あか）を取り除きます。

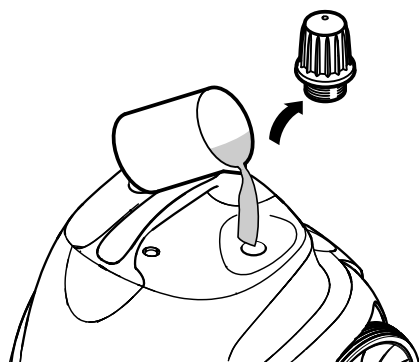
簡単マニュアル

- 1 ホース一体型ヘッドを本体に取り付ける

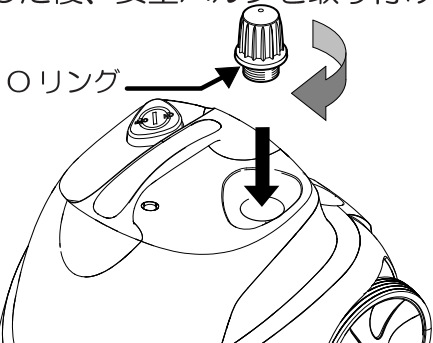


電源を入れる前に必ずホース一体型ヘッドを本体に接続すること。電源を入れると接続しにくくなります。

- 2 安全バルブを外し、水を最大 1.6 リットルまでゆっくりと給水する



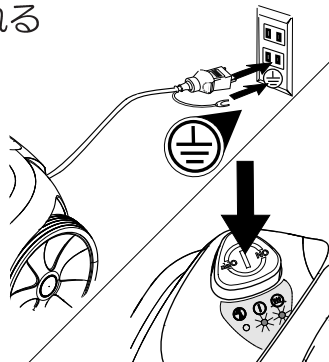
- 3 Oリングに異常がないことを確認した後、安全バルブを取り付ける



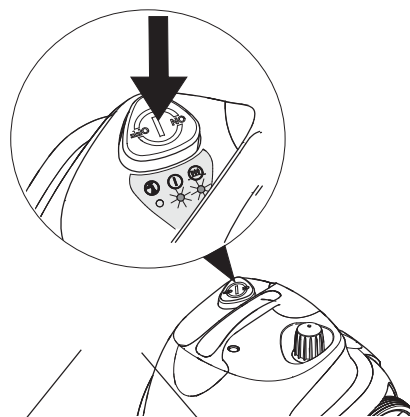
注意

Oリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないこと

- 4 電源プラグを差し込み、スイッチを入れる

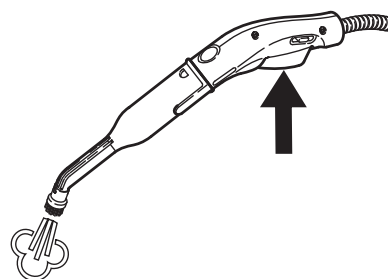


- 5 ヒーターランプ（オレンジ）が消灯するまで、約 10 分間待つ
※ヒーターランプが消えても、スイッチを切らないこと



電源ランプ（緑） ヒーターランプ（オレンジ）

- 6 用途に応じアクセサリーを接続し、スチームレバーを握り作業を行う



アクセサリーを接続する際は、必ずスチームレバーをロックした状態で行うこと

1. 安全上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で注意事項を説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。



の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



の記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



注意

洗浄は自己責任において行うこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにヤケドやケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

警告



スチームを人体に向けて使用しないこと
ヤケドの原因になります。



子供には触らせないこと
ケガをする恐れがあります。



改造禁止

火災、感電、ケガの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を取り付けて使用しないでください。



汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。



火気のそばに置かないこと

本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。



異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止すること

本体の異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。



ぬれた手で電源プラグを触らないこと

感電する恐れがあります。



本体、電源プラグに水をかけないこと

感電やショートする恐れがあります。



雨天時に屋外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと

絶縁、劣化により感電やショートの恐れがあります。



修理はケルヒャー ジャパン家庭用修理センターに依頼すること

個人の修理で生じたケガ、事故、不具合に関しては一切の責任を負いません。補修部品の販売はいたしかねます。



スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと

感電する恐れがあります。



電気に関する警告



電源プラグは確実に差し込むこと

コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。



電源プラグが変形している場合は使用しないこと

電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。



交流 100V 単相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の恐れがあります。
ラベルに記載された電源でご使用ください。



コードを引っ張らないこと

引き抜くときは先端のプラグを持ってください。
コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。



延長コードは 15 アンペア仕様を使用し、10 m以上延長しないこと

規格以下の延長コードを使用した場合、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。
15A 以上の規格のものを最長 10 mでご使用ください。



コードリールは完全に伸ばして使用すること

コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。



タコあし配線はしないこと

複数の電気製品（パソコン・電子レンジ・ドライヤーなど）を同じコンセントで使用した場合、電源ケーブル、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。



警告



安全バルブは使用中触らないこと

使用中は絶対に安全バルブの上に手を当てたり、覗き込んだり、外したりしないでください。

ボイラーが故障した場合スチームを噴出する場合があります。



安全バルブを開ける場合は、十分冷めてから行うこと

安全バルブは、本体が人肌以下まで冷却された後開けてください。
熱い状態で開けた場合湯が噴き出し、ヤケドの原因となります。



安全バルブのＯリングを確認すること

電源を入れる前に確認をしてください。

Ｏリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。



500 作業時間ごとに定期点検を実施すること

例：1 日に合計 2 時間程度使用する場合
半年を目安に有償点検の実施が必要です。

点検を実施しない場合安全バルブからのスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ安全作業ができなくなります。また、点検を実施しない場合蒸気が噴出しヤケドをする恐れがあります。点検を依頼してください。



故障時に安全バルブが作動することがあります

スチームクリーナーには安全装置としてボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁が安全バルブに組み込まれています。
万一の故障時や定期メンテナンス不備によるボイラー内部へのスケール付着などによりボイラー内部の圧力が異常に高くなった場合、安全バルブの圧力逃がし弁が作動し蒸気を勢いよく上方に吹き上げます。

絶対に安全バルブの上で作業を行ったり、近づいたり、覗き込んだりしないでください。ヤケドの恐れがあります。



作業場所から離れる場合はスイッチを切ること

使用方法を知らない方が操作された場合、ケガをする恐れがあります。



常温水を使用すること

湯を入れた場合、機器が正しく作動せず、ヤケドを負う場合があります。
安全上必ず常温水を使用してください。

注意



アクセサリーは確実に取り付けること

確実にロックされていない場合スチームがもれ、ヤケドの原因となります。



アクセサリー接続口のOリングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと

スチームがもれてヤケドの原因となります。



クロスクリップに指を差し込まないこと

クロス脱落防止のためクリップは鋭くなっています。指を差し込まないでください。



本体を倒したり、立てた状態で使用、または保管したりしないこと

ボイラーが損傷する場合があります。



手袋などの保護具を着用すること

作業時は手などに直接スチームがかかる場合や、汚れがはね返る場合があります。ヤケドやケガの防止のため適切な保護具を身に付けてください。



ガラス製品に傷がある場合は洗浄しないこと

割れる場合があります。



ガラス製品、窓ガラス、鏡の掃除には注意すること

- 2 秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。
- ワイヤー入りガラス、厚板ガラスの掃除は特にご注意ください。
ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があります、ケガをする恐れがあります。



洗浄前に材質を確認すること

洗浄の前に必ず洗浄物の材質をご確認ください。スチームは100℃近い温度で出ます。洗浄部分の材質によっては変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。目立たない部分で試してください。



レバーロックをかけること

アクセサリーの着脱はレバーをロックした状態で行ってください。ロックされていない場合スチームレバーに誤って触れスチームが噴出しヤケドを負う場合があります。



アースは万が一の故障や落雷の時の感電を防止します

お風呂場や台所などぬれた手で機械に触れる可能性がある場所で使用する場合は出来るだけアースを接続することをお勧めします。

水道管やガス管には接続しないでください。

※水道管への接続はアースの効果がない場合があります。ガス管への接続は引火の恐れがありますので絶対に接続しないでください。

アースをコンセントに挿入・接触しないようご注意ください。

注意



水以外の液体は絶対に使用しないこと

溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。水道水のみで使用してください。



洗剤や薬品を入れないこと

洗剤や薬品を入れた場合、ボイラーの破損、薬品火傷、健康に悪影響を及ぼす場合があります。
水道水のみでご使用ください。



本機は使用50時間ごとにボイラー洗浄（スケール除去）を行うこと

スケール（湯あか）がたまると故障の原因となり、安全弁が作動する場合があります。

必ず純正ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を用い定期的にボイラーの洗浄（スケールの除去）を行ってください。



水を排水、補給する場合は冷却後に行うこと

必ず本体が人肌以下に冷却された後安全バルブを外し排水、補給を行ってください。



凍結する場所には保管しないこと

凍結した場合、ボイラーが故障します。



スチームホースを無理に引っ張ったりねじったりしないこと

スチームホースが損傷します。

2. 仕様

SC 1202	
電源	100V 50/60 Hz 共用
ヒーター出力	1,500 W
スチーム吐出圧力	0.32 MPa (※1)
安全弁作動圧力	0.57 MPa (※1)
ボイラー加熱温度	139 ℃
ボイラータンク容量	1.6 リットル
ヒートアップタイム (加熱時間)	約 10 分 (※2)
寸法 (長さ×幅×高さ)	385 x 340 x 315 mm
質量 (本体のみ)	4.9 kg
交換時間	(※3) (※4)
安全バルブ用 Oリング	約 200 時間 (約 200 回使用)
安全バルブ	約 500 時間 (約 500 回使用)
圧カスイッチ (内部構成部品)	約 500 時間 (約 500 回使用)
本体寿命	約 1000 時間 (約 1000 回使用)
定格使用時間 (※5)	1 時間

※1 $1 \text{ MPa} = 10.2 \text{ kg f} / \text{cm}^2$

※2 水温 20℃ の際の仕様

※3 作業累積時間

※4 1 回の作業で 1 時間使用した場合の回数

※5 定格使用時間＝電源スイッチが入っているときの合計時間

3. ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）について

名称	ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）
用途	スチームクリーナーのボイラー洗浄（スケール除去）用
成分	スルファミン酸、マレイン酸、L 酒石酸
液性	強酸性
内容量	3本

使用上の注意



警告

- 吸入・飲用不可：人体に害があるので飲まない、吸引しないこと
- 皮膚の弱い人はかぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用すること
- 子供の手の届かない所に保管すること



注意

- 用途以外には使用しないこと
- 使用方法およびスチームクリーナーの取扱説明書をよく読んで使用すること
- 湿度、凍結を避け、冷暗所に保管すること

応急処置

- 飲み込んだ場合は、口の中をすすいでください。直ちに医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合は流水で15分以上目を洗ってください。症状がある場合は医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付いた場合は大量の水と石鹸で洗い流してください。
- 薬品を吸い込んだ場合は新鮮な空気を吸い、体を休ませてください。

保管方法

- 湿度、直射日光や高温、凍結を避けて保管してください。

パッケージ

- プラ：カバー、PVC
- 紙：台紙

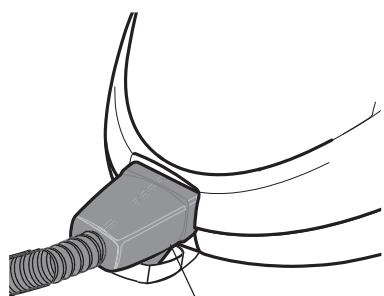
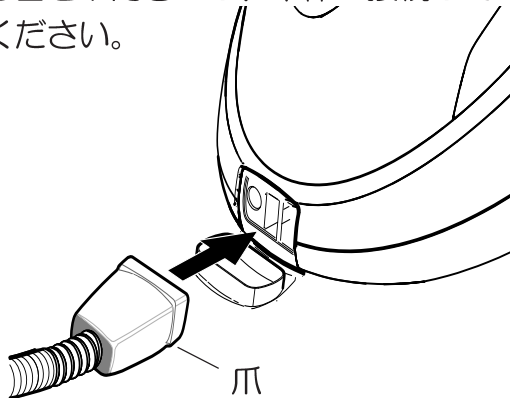
4. 使用方法

1 ホース一体型ヘッドを取り付ける



電源を入れる前に必ずホース一体型ヘッドを本体に接続すること。電源を入れると接続しにくくなります。

- ①本体のホース接続口のカバーを開け、ホース一体型ヘッド接続部の爪のある面を下向きにし、本体に接続してください。



爪がカバーに掛かるまで
しっかり差し込む

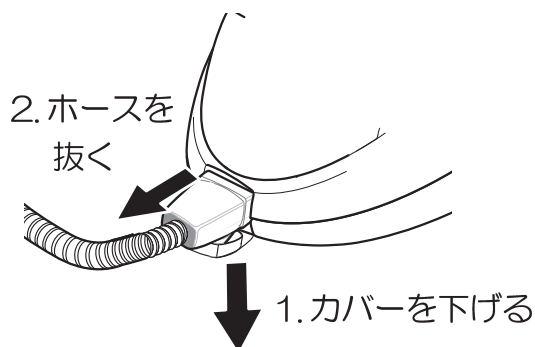
正しい取り付け方

プラグの爪がカバーに掛かるまで差し込みます。爪がカバーに掛かると「カチ」と音がします。

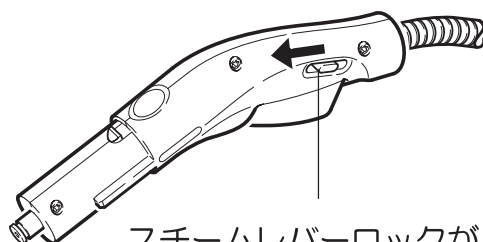
奥までしっかり差し込まないと、スチームレバーを握ってもスチームが出ません。

取り外し方

ホース接続口のカバーを下げるとロックが解除されホースを抜くことができます。



- ②スチームレバーがロックされていることを確認してください。



スチームレバーロックが
前方にあることを確認する

使用中にスチームが出なくなった場合スチームホースのプラグが外れていることがあります。以下の手順に従い操作を行ってください。

<手順>

1. いったん電源を切る
2. プラグを抜く
3. 再度プラグを差し込む
4. スイッチを入れる

2 給水する



注意

■ 常温水を使用すること

湯を入れた場合、正しく作動せず、ヤケドを負う場合があります。

安全上必ず常温水を使用してください。

■ 水以外の液体は絶対に使用しないこと

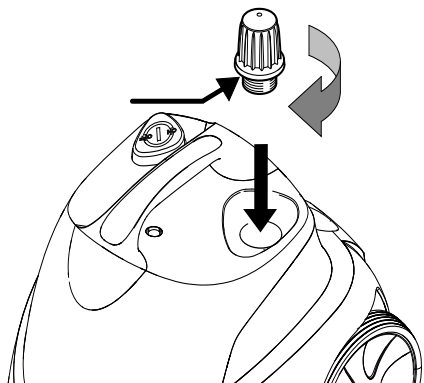
溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。水道水のみで使用してください。

■ 安全バルブのOリングを確認すること

給水ごとに確認をしてください。

Oリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。

- ① 安全バルブを取り外し、水（30℃以下）を最大1.6リットルまでゆっくりと補給してください。

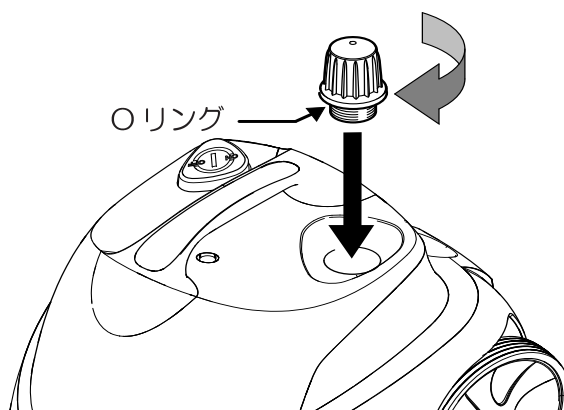


最低使用給水量：0.5リットル

最大使用給水量：1.6リットル

- ② 安全バルブのOリングに異常がないことを確認し、安全バルブを取り付けてください。

Oリングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。



※ Oリングは、安全バルブネジ部分の根元に装着されています。

注ぎ口の水はタオルなどで拭き取ってください。



水が注ぎ口に残っている場合、加熱を始めた際に蒸気となりスチームもれと間違える場合があります。

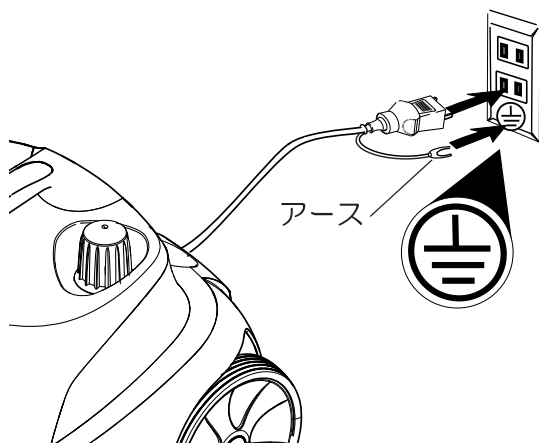
- 加熱を始めると安全バルブは空回りして開けることができません。本体が人肌以下に冷めると再び開けることができるようになります。

3 電源を入れる



電源を入れる前に、本体にホース一体型ヘッドを取り付け、ボイラー内に水を入れてください。

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。



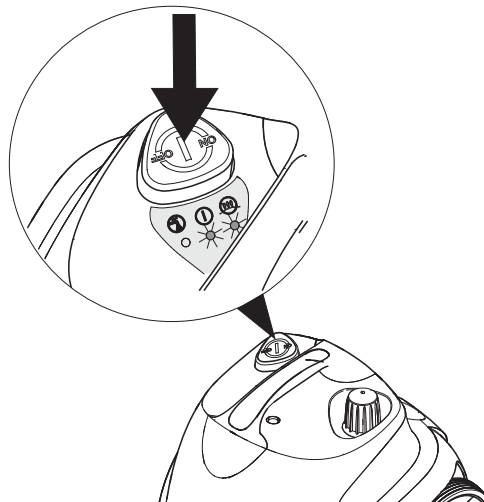
注意

■アースは万が一の故障や落雷の時の感電を防止します

お風呂場や台所などぬれた手で機械に触れる可能性がある場所で使用する場合は出来るだけアースを接続することをお勧めします。水道管やガス管には接続しないでください。

※水道管への接続はアースの効果がない場合があります。ガス管への接続は引火の恐れがありますので絶対に接続しないでください。

- ②スイッチを押してください。

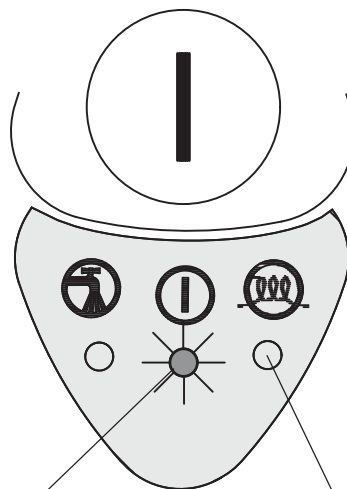


スイッチを押すと、電源ランプ（緑）とヒーターランプ（オレンジ）が点灯します。

- ③ヒーターランプ（オレンジ）が消灯したら（約 10 分後）、使用を開始することができます。

※加熱時間は水温により異なります。

※ヒーターランプが消えても、スイッチを切らないでください。



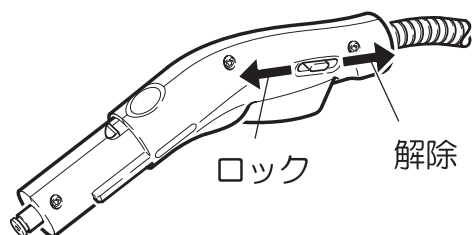
電源ランプ（緑）

ヒーターランプ
（オレンジ）

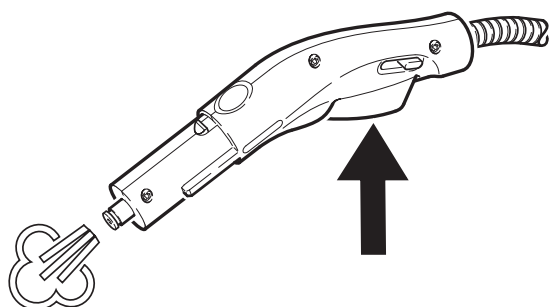
- ヒーターランプは自動でオン⇄オフを繰り返します。

4 操作方法

- ①スチームレバーロックを後方にスライドし、ロックを解除します。



- ②スチームレバーを握ると、スチームが出ます。



! 注意

- 作業を中断した場合（約1分間以上）再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと
- 作業を中断（約1分間以上）した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出る場合があります。
- 本体を倒したり、立てた状態で使用しないこと
- ボイラーが損傷する場合があります。

5 アクセサリーの使用方法

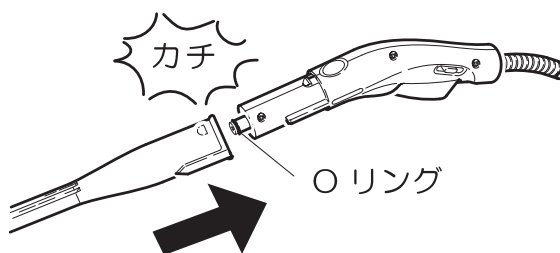
! 注意

- アクセサリ接続口のOリングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと
- スチームがもれてヤケドの原因となります。
- アクセサリを着脱する際には、必ずスチームレバーをロックすること

- ①ノズルヘッド、ハンドブラシ、延長パイプ、フロアノズルの取り付け

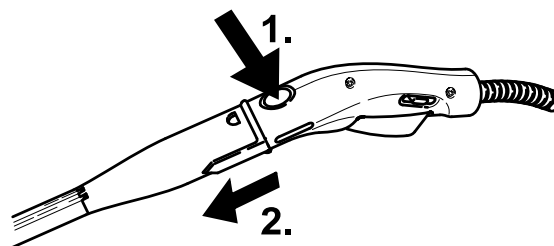
<取り付け方法>

カチと音がするまで差し込みます。取り付けがきつい場合は、接続部分のOリングに水をつけるとスムーズになります。



<取り外し方法>

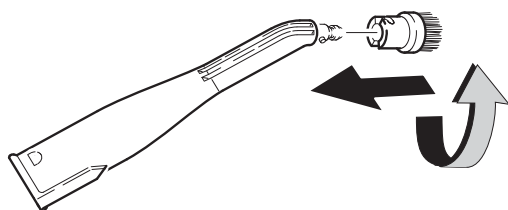
アクセサリロックボタンを押しながら引き抜きます。



②ブラシの取り付け

<取り付け方法>

ノズルヘッド先端部の爪とブラシの刻みを合わせて差し込み、時計回りに回して固定します。



<取り外し方法>

ブラシを反時計回りに回し、引き抜いてください。



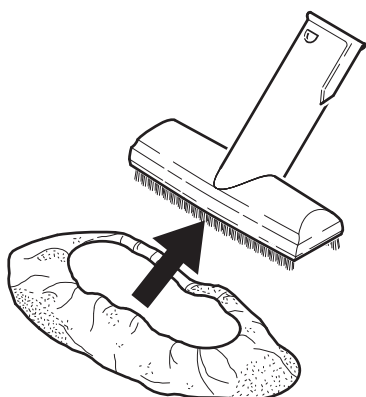
注意

ヤケドに注意すること
ブラシが熱くなっている場合があります。

③カバーの取り付け

<取り付け方法>

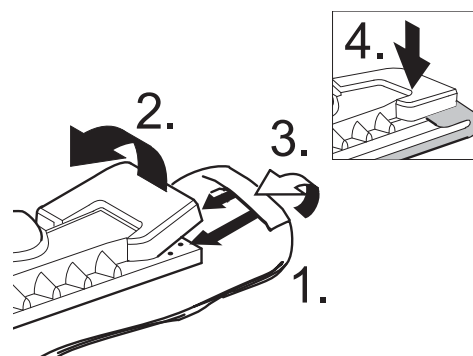
ハンドブラシに被せて使用します。



④クロスの取り付け

<取り付け方法>

1. クロスの上にフロアノズルを置き、端を折り上げます。
2. クロスクリップを上げて開き、固定します。
3. クロスの折った部分をクロスクリップに挟みます。
4. クロスクリップを元に戻します。



<取り外し方法>

クロスクリップを上げて開き、クロスを抜き取ります。



注意

クロスクリップに指を差し込まないように注意すること
クロスクリップ部分は、クロスが脱落しないように鋭くなっています。

＜アクセサリ用途＞

用 途	アクセサリ	洗浄のポイント
部分的に掃除したい しみ / カーペットの起毛 (家具の跡をとる)	ノズルヘッドのみ	しみや汚れのすぐ横に布を置き、斜めに（布の方向に）スチームを噴射し、汚れを布に吹き飛ばします。
凸凹のある場所を掃除したい サッシ、レールの汚れ / タイル目地のカビ	ノズルヘッド + ブラシ	ブラシに洗剤を少し付けると、より効果的です。洗浄後、汚れや水分を拭き取ってください。
油汚れを落としたい キッチンの油汚れ / オープンの汚れ / 換気扇 / エンジンルーム	ノズルヘッド + ブラシ + タオル	初めにタオルで汚れを拭きます。力を加えすぎないようにします。スチームを出しながら汚れをこすって浮き上がらせます。洗剤をブラシに付けて洗うと、より効果的です。ブラシにタオルを巻きつけて使用すると、洗浄対象物を傷めません。
広い面を洗浄したい フローリング / 樹脂製の床 / 石材の床 / カーペットタイル	延長パイプ（2本） + フロアノズル + クロス	フロアノズルにクロスを取り付け、汚れをスチームで浮かせてクロスで拭き取ります。 ＜ヒント＞ スチームを出し続けると床面がぬれすぎる場合があります。 <u>少ないスチームでも十分な清掃が行えます。</u> スチームは断続的に出してください。 (例)レバーを3秒程度握るとタオルにスチームがたまります。レバーを放して3秒程度掃除します（この手順を繰り返す）。

用 途	アクセサリ	洗浄のポイント
窓や鏡を掃除したい	ハンドブラシ +窓用スクイジー	ハンドブラシにカバーを取り付け ない状態で約10cmぐらい離し、スチームをガラス表面に均一に当てます。窓用スクイジーのゴムベラ部をガラスに密着させ、水分を拭き取ります。 寒い季節には予備加熱（20cm 離れた状態で全体を暖める）を行ってください。

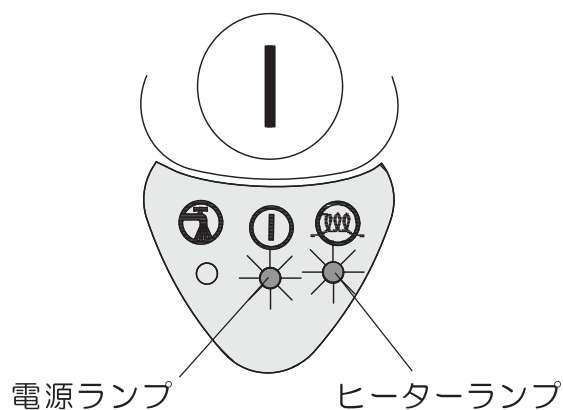


注意

スチームの温度は噴き出し口で約100℃です。材質や耐熱温度によっては使用できない場合があります。予め目立たないところでお試してください。

6 使用中にスチームが出にくくなった場合

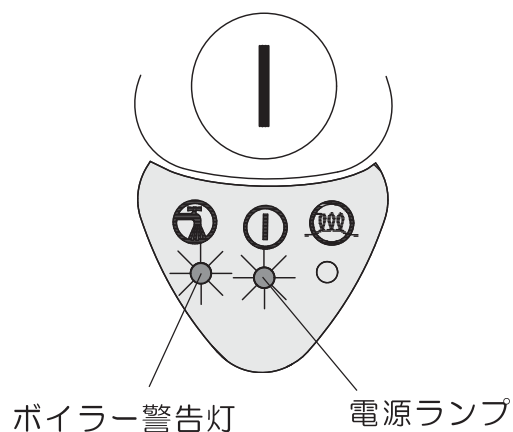
- ヒーターランプ（オレンジ）が点灯している場合



連続使用でボイラー温度が下がっています。

電源を入れたまま1～2分作業を中断し、布などに向けてホース内の湯を出した後、使用を再開してください。

- ボイラー警告等（赤）が点灯している場合



ボイラーの水がなくなりました。
速やかにスイッチを押し、電源を切ってください。

作業を継続する場合は、本体が人肌以下に冷めるまで放置した後、給水をしてください。



給水は冷却（約1時間以上放置）後に行うこと

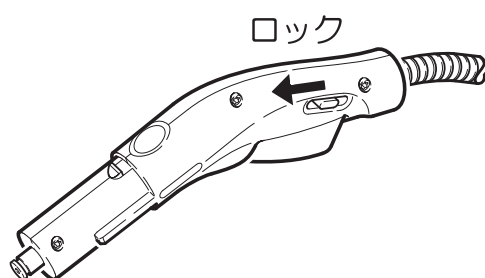
安全バルブを取り外す際には、本体が人肌以下に冷めた後に行ってください（約1時間以上放置します）。

本体が熱い状態で安全バルブを取り外した場合、湯が吹き出し、ヤケドをする恐れがあります。

5. 作業を中断、終了する場合

1 作業を中断する場合

スチームレバーロックを前方にスライドし、ロックしてください。

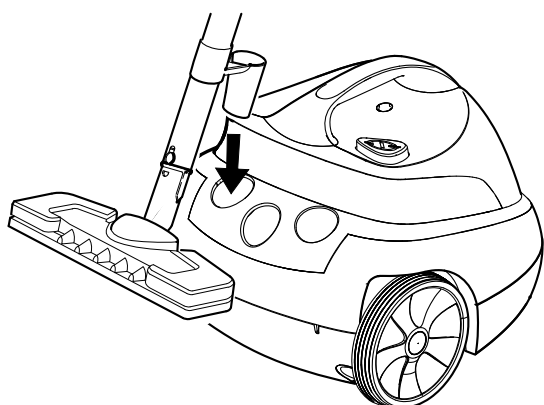


注意

作業を中断した場合（約1分間以上）再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと

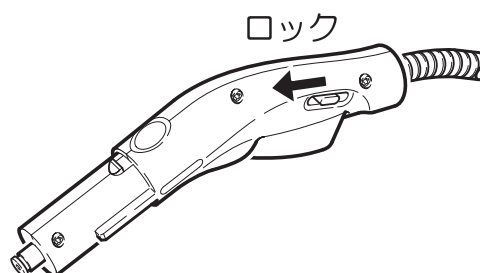
作業を中断（約1分間以上）した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出る場合があります。

作業を中断する際、アクセサリフックをアクセサリホルダーに差し込み、本体に立て掛けることができます。

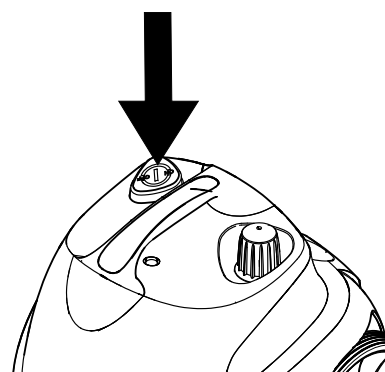


2 作業を終了する場合

①スチームレバーロックを前方にスライドし、ロックしてください。

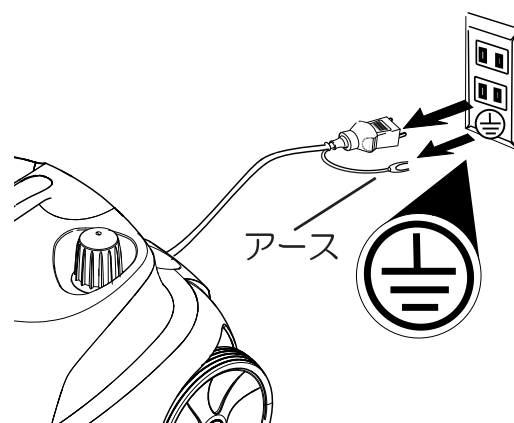


②スイッチを押し、電源を切ってください。

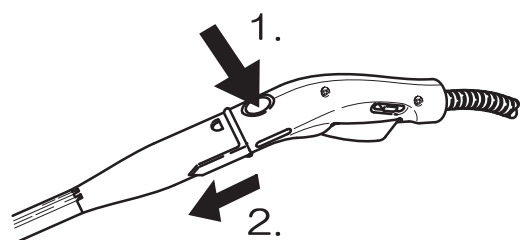


スイッチを切った後、全てのランプが消えていることを確認してください。

③電源プラグを持ち、コンセントから抜いてください。



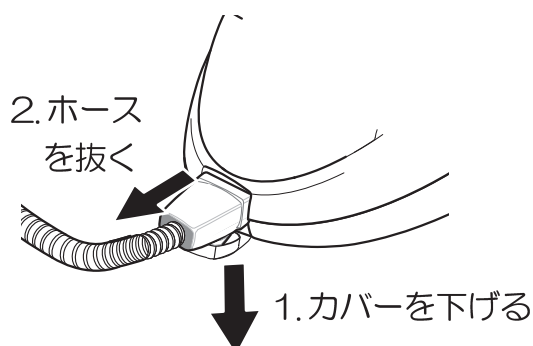
- ④接続していたアクセサリーを取り外してください。



＜取り外し方法＞

アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。

- ⑤本体が冷めてからホース一体型ヘッドを取り外してください。



＜取り外し方法＞

ホース接続口のカバーを下げるとロックが解除されホースを抜くことができます。



注意

ホース一体型ヘッドは、本体が冷めてから取り外すこと

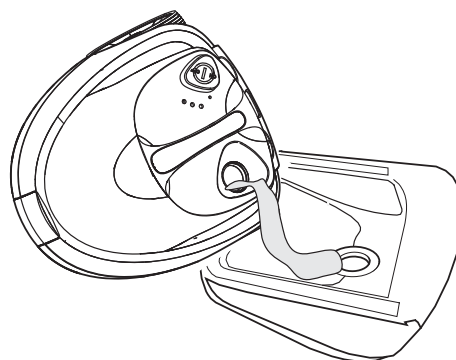
- ⑥本体が人肌以下に冷却された後、ボイラーに残った水を捨ててください。ボイラーが冷却されるには、約1～4時間程度かかります（※残水量により異なります）。

排水方法

安全バルブを外してください。取っ手を持ち、ゆっくり機械を傾け、ボイラーに残った水を捨ててください。

※水がこぼれないように注意してください

※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください



注意

安全バルブは本体が人肌以下に冷却されてから取り外すこと

本体が熱い状態で安全バルブを取り外した場合、蒸気が噴出しヤケドをする恐れがあります。



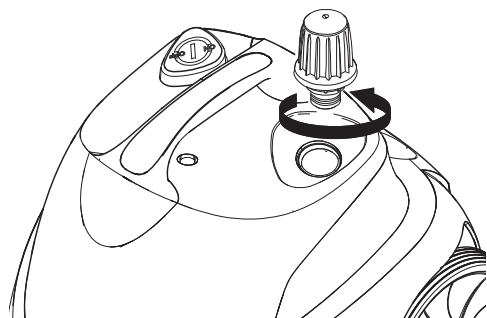
ボイラー内に残った水は、使用後毎回捨ててください。

<安全バルブが外れない場合>

ホース一体型ヘッドを再度取り付け、スチームレバーを握り、残圧を抜いた後安全バルブを回して下さい。

※作業直後はボイラー内が高温高圧のため安全バルブは空回りして開けることができません。

※約1～4時間程度おいても安全バルブが外れない場合には、一日おいてから取り外してください。



6. お手入れのしかた



注意

- お手入れをする場合には必ず機械が冷めた状態で行うこと
- スイッチを切り、電源プラグを取り外した状態で行うこと

1 本体のお手入れ

ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。

使用したカバー（ハンドブラシ用）やクロス（フロアノズル用）は、中性洗剤で洗い、乾かしてください。

2 ボイラーのすすぎ （使用5回ごと）

スケール（湯あか）の付着を予防するために、ボイラーをすすいでください。

すすぎの目安：使用5回ごと

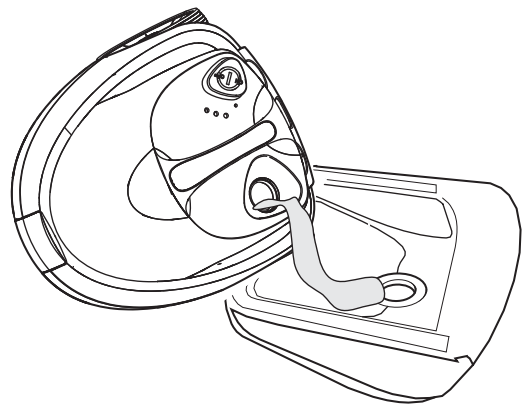
使用を重ねていくとボイラー内部にスケール（湯あか）が付着し、温度が上がりにくくなります。また、スケールの付着は、故障の原因にもなります。定期的なお手入れでスケールの付着を防ぎ、安全にご使用ください。

すすぎ方

- ① スwitchを切って電源プラグをコンセントから抜き、本体を人肌以下に冷やしてください。
 - ② 安全バルブを外し、ボイラーに残っている水を全て捨ててください。
 - ③ ボイラーに水を入れ本体をよく振り、その後水を捨ててください。
- この動作を3回繰り返してください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。

※水がこぼれないように注意してください

※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください



3 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）の使用 （使用約 50 回ごと）

使用50回ごとにボイラーのスケール（湯あか）をボイラー洗浄剤（スケール除去剤）で取り除いてください。ケルヒャー純正ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）をご使用ください。

RM511 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）
注文番号：6.290-239.0

- 安全バルブのスケール除去はできません。
- 蒸留水を使用した場合は、スケールは付着しません。

【ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）の使用方法】

- ①ボイラー内をすすいでください。
 - ②ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を3本用意してください。
 - ③容器に1.6リットルのぬるま湯を用意し、スティックを入れ、溶かしてからボイラーに注いでください。
 - ④安全バルブを外した状態で約8時間放置してください。
 - ⑤8時間後ボイラーの水を捨て、清水で3回以上すすいでください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。
- ※水がこぼれないようご注意ください
※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください
- ⑥安全バルブを閉めてください。
 - ⑦室内に保管してください。

4 安全バルブとOリング交換

安全バルブのOリングに異常がないことを確認してください。

Oリングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。



取り外したOリング

安全バルブ

（注文番号：4.590-105.0）

約 500 作業時間ごと交換
（作業約 500 回ごと）

Oリング

（注文番号：6.363-468.0）

約 200 作業時間ごと交換
（作業約 200 回ごと）



注意

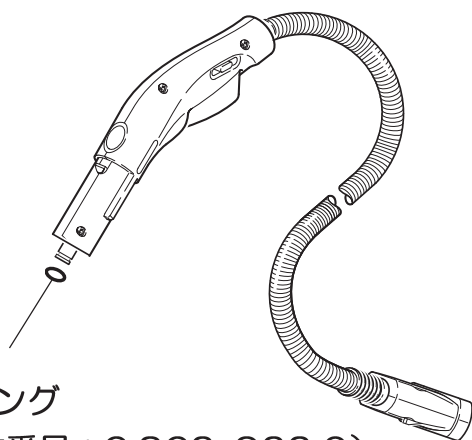
安全バルブ、Oリングが損傷するとスチームもれが発生する恐れがあります。規定時間以内でも損傷がある場合は交換してください。

■ご注文は

お買い求めの販売店、あるいはケルヒャーカスタマーサービスセンター（36ページ参照）までお問い合わせください。
※注文番号は予告なく変更になる場合があります。

5 アクセサリー接続口の O リングについて

アクセサリ（ホース一体型ヘッド・ノズルヘッド・延長パイプ）接続口のOリングが装着されていない、もしくは損傷している場合、新しいOリングを装着してください。



O リング
(注文番号：6.362-922.0)

装着例：ホース一体型ヘッド

■ご注文は

お買い求めの販売店、あるいはケルヒャーカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※注文番号は予告なく変更になる場合があります。

6 定期点検について



注意

500 作業時間後の点検

約500 作業時間※（作業約500 回）ごとに有償点検をお受けください。

※作業時間とは、保温状態の累積時間です。

例：1 日 2 時間程度使用する場合は半年を目安に有償点検の実施が必要です（安全バルブ、圧力スイッチなどの交換）。

点検を実施しない場合安全バルブからのスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ安全作業ができなくなります。また、点検を実施しない場合蒸気が噴出しヤケドをする恐れがあります。

■ご依頼は

お買い求めの販売店、あるいはケルヒャー カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。



注意

1000 作業時間後の点検

本機の耐用時間（ボイラー寿命）は、約1000 作業時間※（作業約1000 回ごと）です。

※作業時間とは、保温状態の累積時間です。

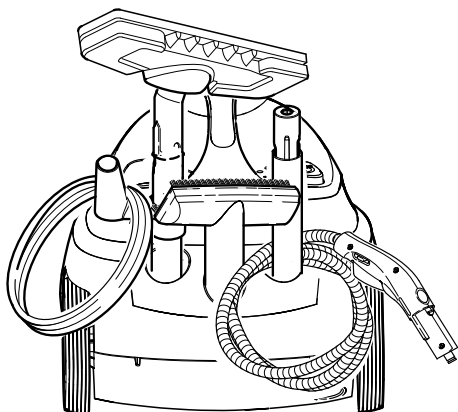
安全に商品をご使用いただくために、作業時間の累積が1000 作業時間を超えたときにケルヒャーサービスエンジニアによる点検をお受けください。

■ご依頼は

ケルヒャー カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

7. 保管方法

アクセサリホルダーにアクセサリを収納した後、保管してください。



注意

- 保管前に必ずお手入れをすること
- タンクの水を抜いた状態で保管をすること
- 安全バルブを閉めた状態で保管をすること
- 屋内のホコリのかからない、凍結しない場所に保管をすること
凍結した場合には、自然解凍をしてください。
- 本体を倒したり、立てた状態で保管しないこと
ボイラーが損傷する場合があります。

8. 故障かな？と思ったら

このようなとき	原因	対策
スチームが出ない	電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントにしっかり差し込む
	スイッチが入っていない	スイッチを押し、ヒーターランプ（オレンジ）の点灯を確認する
	水が不足している ボイラー警告灯（赤）が点灯している	本体が人肌に冷めるのを待って、給水を行う
	細い延長コードを使用している	15A仕様のコードを使用する（最長10m）
	ホース一体型ヘッドが奥まで完全に接続されていない	ホースを奥までしっかり差し込みなおす
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が低下している	1～2分作業を中断しヒーターランプ（オレンジ）が消えるまで待つ
スチームが出るまでに時間がかかりすぎる	ボイラー内にスケール（湯あか）がこびりついている	ボイラー洗浄（スケール除去）を行うか、メンテナンスを依頼する
ホース一体型ヘッドを本体に接続できない	電源が入っている	電源を切った状態で接続する
	Oリングのすべりがわるい	ホース一体型ヘッド接続部のOリングに軽く水を塗る
安全バルブが空回りして外れない	本体が十分に冷めていない	本体を1～4時間程度冷ます
本体が冷めた状態でも安全バルブが外れない。左に回せない。	ボイラーに残圧が残っている	スチームレバーを握り、ボイラー内の残圧を下げる
	安全バルブがきつく閉まっている	力を入れて左に回す

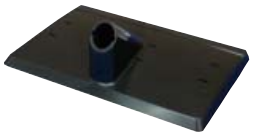
9. オプション アクセサリー

※仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。

※注文番号は予告なしに変更になる場合があります。

オプションアクセサリーは、販売店でお買い求めください

 フロアノズル 注文番号：2.885-142.0 従来品に比べ、汚れ除去率が35%向上しました。 JANコード：4039784401778	 フロアブラシ 注文番号：2.884-278.0 カーペットやタイルなど床面のお掃除に、クロス（別売）を付けてお掃除します。 JANコード：4039784048041
マイクロクロス（キッチン用） 注文番号：2.863-172.0  フロア用クロス2枚、ステンレス製品用クロス1枚、ハンドブラシ用クロス1枚 JANコード：4039784169869	ハンドブラシ 注文番号：4.130-144.0  壁やソファの背もたれなど、壁面のお掃除にカバー（別売）を付けてお掃除します。 JANコード：4002667442717
マイクロクロス（お風呂用） 注文番号：2.863-171.0  フロア用クロス2枚、仕上げ用クロス1枚、ハンドブラシ用クロス（研磨素材入）1枚 JANコード：4039784169852	クロスセット 注文番号：6.960-019.0  クロス2枚、カバー3枚 JANコード：4002667012576

延長パイプ 注文番号：4.127-023.0 ＊この注文番号は1本での注文番号です。  1本。長さは50cm。フロアブラシ（別売）などを使用する際、楽な姿勢でお掃除できます。 JANコード：4002667813074	ブラシ（真ちゅう製）3 個組 注文番号：2.863-075.0  ブラシの毛の部分が真ちゅうでできており、こびりつきのひどい汚れを落とします。 JANコード：4002667358063
ブラシ3 個組（赤 2 個、黒 1 個） 注文番号：2.863-077.0  お風呂場、台所、トイレなど色で使い分けできます。 JANコード：4002667358070	スチームターボブラシ 注文番号：2.863-159.0  ポイントブラシ先端が小刻みに振動するため、汚れをこする必要がありません。通常のブラシよりも、洗浄時間を50%削減できます。 JANコード：4039784060142
窓用ノズル 注文番号：4.130-115.0  スチームをガラスに吹きかけ、上部に付いたスクイジー（ゴムベラ）で汚れを拭き取ります。 JANコード：4002667017311	壁紙はがし 注文番号：2.863-062.0  糊をスチームの熱で溶かし、壁紙を剥がしやすくなります。 JANコード：4002667017328
ノズルセット 注文番号：2.884-282.0  スチームを集中して出すことのできるスポットノズル（赤）と、届き難い場所の掃除の際にノズルを延長するための延長ノズル（黒）のセットです。 JANコード：4039784048089	RM 511 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤） スティックタイプ（9 本入り） 注文番号：6.290-239.0  ボイラー内部に付着した湯あかを除去します。 ※使用目安：50回に1回 JANコード：4002667014822

10. アフターサービス・保証について

1. 保証書が37～38ページに添付されています。大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証書は、お買い上げ販売店で必要事項を記入したものをお受け取りください。
4. 保証期間は保証書に記載されています。
5. 保証期間終了後の修理につきましては弊社ホームページの「修理・アフターサービス」のページ（<http://www.karcher.co.jp/private/support/index.html>）をご覧ください。販売店もしくは下記ケルヒャーカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

製品に関するお問合せ

ケルヒャー カスタマーサービスセンター
0120-60-3140

受付日 ： 月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）
受付時間： 午前9時～12時、午後1時～5時

修理品送り先

〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平3-2

ケルヒャー ジャパン株式会社
家庭用製品修理センター 宛

(022)-344-3140

※修理品をお送りいただく際には、38ページの保証書に故障状況をご記入の上、必ず同梱してください。

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー商品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い補償いたします。

この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証の内容

お買い上げいただきました商品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社家庭用製品修理センターで無料修理をいたします（この無料修理を保証修理といいます）。

保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。

また、取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から1年間とします。

■保証できない事項

●修理の際の輸送費用

●次に示すものに起因すると判定される故障は、保証修理いたしません。

- ・取扱説明書の指示に反する使用
- ・保守整備の不備または間違い
- ・弊社が提示している仕様の限界を超える使用
（規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下など、業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など）
- ・弊社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意による故障（凍結、ボイラー内への異物混入、落下による故障など）
- ・業務で使用情况

●次に示すものは保証修理いたしません。

- ・経年変化により発生した不具合
プラスチックカバーなどの自然退色、電源コード、ホースのひび割れ、Oリングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動など）
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合
- ・薬品、塩害などに起因する不具合
- ・水質などに起因する詰まり、劣化

●次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・消耗品（油脂、ノズル、安全バルブ、Oリング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、パット、クロス、およびこれらに類する消耗品）
- ・お買い上げ販売店以外での修理
- ・点検、清掃、調整、および定期点検整備
- ・この保証書に示す条件以外の費用補修など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さおよび損失など（休業損失、商業損失など）
- ・洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
- ・正しく操作をせずにケガを負った場合

●出張修理はいたしません。

修理はお買い求めいただいた販売店へご依頼ください。

■保証の適用

この保証は日本国内で使用される弊社商品のみに適用いたします。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をお申しつけください。
製造番号は、商品の裏側もしくは後部に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■保証修理の申し込み方法

ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書を添付の上、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただくか、または下記ケルヒャー ジャパン株式会社までお送りください。
ご不明な点がございましたらケルヒャー カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。
お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

SC 1202		保証期間： 1 年		製造番号：	
お買い上げ日：平成 年 月 日					
お 客 様	ご住所：				
	お名前：				
	電話：() —				
販 売 店	住所：				
	店名：				
	電話：() —				
(故障状況)					

ケルヒャー ジャパン株式会社

本 社：宮城県黒川郡大和町松坂平 3 丁目 2 番 Tel：(022) 344－3140

東日本営業グループ Tel：(048) 710－8770

西日本営業グループ Tel：(072) 650－1397

九州営業グループ Tel：(092) 934－2828

ケルヒャーホームページアドレス <http://www.karcher.co.jp>